

ウミガメ採卵保護を行いました

高知市春野町仁ノ 平成29年7月10日（月）

- 高知海岸では5月中旬から8月中旬までアカウミガメの上陸・産卵が見られます。
- 7月10日、高知市立春野東小学校の4年生が、仁ノ工区にアカウミガメの採卵見学に来ました。ウミガメの保護活動をしている春野の自然を守る会の熊沢さんが採卵します。



●熊沢さんから注意事項などの説明を受けたあと、採卵前にみなさんが海岸清掃をしました。ゴミのない海岸になれば、アカウミガメも産卵がしやすくなりますね。



●清掃後、小学校でお世話をした2匹のアカウミガメを放流します。「頑張れー」、「大きくなって帰ってきてね」など、またこの海岸に戻って来てほしいと願いを込めてたくさんの声援を送りました。





●アカウミガメ産卵の後は、このような足跡が浜辺に残されています。足跡を観察した後は、いよいよ採卵開始です。熊沢さんが慎重に砂を掘っていきます。

●卵が見つかりとみんなで数を数えます。春野東小学校は、126個の卵を採卵しました。

「ピンポン球みたい」、「柔らかいね」と、1人1人直接卵に触れて感触を確かめました。



●最後に熊沢さんにお礼をして、採卵会は無事に終了しました。卵がふ化するまで、ふ化場の水やりや温度計測などのお世話が大変ですが、4年生のみなさん頑張ってください！